

令和3年度 芳賀町立芳賀中学校 学校評価書

学校評価のねらい

すべての教育活動その他の学校運営が効果的に実施できているかどうか、保護者、学校、地域住民(学校評議委員=学校関係者評価委員)等が連携し、評価する。それらを通して、生徒がよりよい教育活動を受けられることをめざし、学校をよりよくするための方策を明らかにする。

1 校訓・教育目標・目指す生徒像

校訓	教育目標	目指す生徒像
創造	自ら学ぶ生徒 (創造)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、自信をもって発表できる生徒 自ら課題を見つけ、周囲と協力して解決できる生徒
敬愛	心豊かな生徒 (敬愛)	<ul style="list-style-type: none"> 明るく元気に大きな声で、あいさつができる生徒 清掃活動に一生懸命に取り組める生徒
実践	たくましい生徒 (実践)	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝・早起き・朝ご飯」を着実に実践できる生徒 交通ルールを守り、安全に自転車で登下校できる生徒
	ふるさとを愛する生徒 (本校の使命)	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア・奉仕活動、地域活動等に積極的に参加できる生徒 運動・文化芸術活動等に意欲的に取り組める生徒

2 目指す学校像

すべての生徒と職員が
夢を育み 知を磨き<創造> 心豊かに<敬愛> 汗を流して<実践> 高め合う学校

3 学校経営の方針

基本経営理念：「芳賀町に誇りをもち 明日の芳賀町を担う生徒の育成」 ～誇れる、つよい学校・生徒づくり～

- 生涯学習社会に生きる生徒の育成
- 望ましい生活習慣と社会性の育成
- 確かな学力の保証
- 豊かな心をもつ生徒の育成
- 健やかな体をもつ生徒の育成
- 全職員による学校経営参画(チーム学校の実践)
- 家庭や地域、関係機関との協働による学校経営(チーム学校の実践)

4 本年度の指導視座と重点項目

視座：10年後の勝負に勝てる生徒を育てる
重点項目：人間力の基礎・基盤をつくる…思いやりの心と確固たる生活習慣
→明日の、10年後の自分のために「時を守り 場を清め 礼を正す」

5 本年度の重点目標・努力点

- 確かな学力を身に付けた生徒の育成** **プロジェクト知**
 - ①基礎的・基本的な知識や技能の定着
 - ②教科部会での授業研究等の充実
 - ③ICTの活用やペア・小集団などの工夫
 - ④「学力向上の日」の活用
- 豊かな心をもつ生徒の育成** **プロジェクト徳**
 - ①共通題材を用いた授業の実施
 - ②道徳的実践力に結びつくよう指導
 - ③学校行事を通して生徒が感動を共有
 - ④「3つのルール」の徹底。(時間いっぱい、無駄話せず全力で、身支度整える)
- 健やかな体をもつ生徒の育成** **プロジェクト体**
 - ①電子機器の使い方の指導
 - ②担任と栄養教諭や養護教諭と連携した食に関する指導の工夫
 - ③生徒の様子をよく観察しながら主担当と副担当が連携した部活動を充実
- 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成** **プロジェクト生き方**
 - ①「居がいのある学級」作りなど学業指導の充実、生活の基盤づくり
 - ②町等と連携しボランティア活動の充実
 - ③未然防止策や教育相談を充実し、情報の共有化と初期対応の体制強化
 - ④進路指導の充実

6 本年度の学校課題

10年後の社会を担う生徒の育成
～「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を高める教育～

7 自己評価表

○：目標指数より+3%以上 ×：-3%以下 △：+3%～-3%

項目	評価項目 【目標指数(A+Bの肯定的回答)】	主な具体的な取組	評価A+Bの肯定的回答 【次年度の具体策】
プロジェクト知	<p>1 生徒の学力の向上 生徒：授業の内容がよく分かる。 保護者：学校は学力の向上を図っている。 教職員：生徒の学力向上を図っている。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 80% 保護者 85% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科部会を活用した授業改善。 指導方法の統一化、わかる授業の展開。 I C Tの活用。 ねらいの提示、振り返りの仕方。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：85.9%(84.1%) ○ 保護者：83.5%(82.6%) △ 教職員：100%(100%) ○</p> <p>今年度は、県や町の指導主事を迎えて授業づくりや授業改善に取り組んだり研究授業や授業研究会を実施したりしてきた。今後も指導主事の指導を仰ぎながら、毎週開かれる教科部会で情報の共有や指導法の意見交換などで指導力を向上させ、生徒の学力向上を推進していきたい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> プリントや形態などを工夫し、習熟度別学習を行う。 I C T活用の工夫。
	<p>2 コミュニケーション力 生徒：自分の考え発表することができる。 保護者：学校は子どもの発表力向上を図っている。 教職員：生徒の発表力、コミュニケーション力の向上を図っている。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 60% 保護者 75% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の指導スキル向上。 「深い学びの手法」の実施。 ペア・小集団での話し合い、発表を行うことでの自信の確立。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：43.8%(43.4%) × 保護者：73.9%(72.7%) △ 教職員：100%(97.4%) ○</p> <p>発表について、生徒が依然として苦手意識をもっているため、ここ数年、学校課題に表現力の育成を掲げている。発表前にグループ活動を取り入れるなど授業展開を工夫したり、校長講話で励ましたりするなど地道な努力を続けている。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話をつなぐなど教師の指導スキル向上。 ペアや小集団の大きさや話題など話し合い活動の設定の工夫をする。 <p>※アンケート(生徒)項目の変更 自分の考えを伝えることができる。</p>
	<p>3 学習意欲の向上 生徒：授業に一生懸命に取り組んでいる。 保護者：学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。 教職員：生徒の学習意欲の向上を図っている。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 85% 保護者 80% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「深い学びの手法」を取り入れた授業の増加。 生徒の主体的・対話的な学び。 基礎学力を高めることでの意欲の向上。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：93.0%(92.7%) ○ 保護者：76.6%(75.4%) × 教職員：97.1%(100%) ○</p> <p>「学力向上の日」（木曜日）と称した朝の学習時間を活用してミニテストを実施するなど、努力の成果が確認できる体験を重ねた。また、分かりやすい授業や分かって楽しい授業の展開を心がけ、ペア活動や任意小集団の活動も多く取り入れてきた。今後も生徒とともによりよい授業を展開するため授業改善を継続していきたい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力的な教材の収集 小テストなどでクラス対抗で競わせるなどの工夫をする
	<p>4 家庭学習 生徒：家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。 保護者：学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり習慣化を図っている。 教職員：生徒の家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 75% 保護者 80% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学力向上の日」の効果的な活用。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：68.8%(66.0%) × 保護者：72.7%(68.4%) × 教職員：82.9%(97.4%) ×</p> <p>クラス担任が時間の使い方や繰り返し学習することの大切さを伝えたり、よりよい友人の家庭学習帳の例を紹介したりするなど粘り強く指導している。また、昼休みの学習会などを実施し、教科担任から学習のポイントや学習方法について繰り返し指導してきた。今年も保護者会が実施できず、学校と家庭が意識を統一する機会が減ってし</p>

		<p>まったが、個に応じた学習方法を学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図っていききたい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のしおりの活用 ・学習方法の指導（学級活動） ・家庭学習のルール統一 	
	<p>5 授業力の向上 生徒：授業が楽しく、わかりやすい。 保護者：学校は、子どもに、楽しく、わかりやすい授業を提供している。 教職員：生徒にとって、楽しく、わかりやすい授業を展開している。</p> <p>【本年度の目標指数】</p> <p>生徒 80% 保護者 80% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科部会での授業研究等の充実 ・効果のあった指導方法や資料の共有化。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】</p> <p>生徒：80.5%(76.2%) △ 保護者：73.3%(74.0%) × 教職員：100%(100%) ○</p> <p>一方的な授業展開にならないよう生徒同士が意見交換をしたり発表したりする時間を設けるなど授業の進め方を工夫・研究してきた。また、理解が進むようタブレットや電子黒板、デジタル教科書、インターネットなどICT機器も積極的に活用してきた。今後も、指導主事の支援を請いながら授業展開の工夫・改善に努め、楽しく分かりやすい授業を展開し、生徒の学力向上につなげていきたいと考えている。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科部会での授業研究等の充実。 ・効果のあった指導方法や資料の共有化。
プロ ジェ クト 徳	<p>6 道徳の授業 生徒：道徳の時間に、テーマについて一生懸命考えている。 保護者：学校は様々なテーマに沿った道徳の授業を展開している。 教職員：年計に沿って道徳の授業を進めている。</p> <p>【本年度の目標指数】</p> <p>生徒 80% 保護者 80% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりに『道徳コーナー』を設け、道徳の授業の様子を毎月保護者に知らせる。 ・共通題材を用いた授業の実施。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】</p> <p>生徒：92.2%(89.7%) ○ 保護者：79.7%(76.3%) △ 教職員：97.0%(91.9%) ○</p> <p>担任同士が授業展開について情報交換するなど道徳の授業改善に努めた。また、任意小集団やグループでの意見交換をふまえてクラス全体で意見を共有するなど授業展開も工夫してきた。その成果として、生徒の活発な発言や深く考える場面が多く見られた。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年だより『道徳コーナー』を設け、道徳の授業の様子を毎月保護者に知らせる。 ・各学年内で、有効な補助教材の共有化を図る。
	<p>7 道徳的実践力（本年度変更） 生徒：道徳の時間に考えたことを実践しようとしている。 保護者：子どもは、進んでよいことをしようとする心が育っている。 教職員：道徳の授業の中で道徳的実践に結びつくよう指導している。</p> <p>【本年度の目標指数】</p> <p>生徒 70% 保護者 60% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業の中で道徳的実践力に結びつくよう指導する。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】</p> <p>生徒：68.2%(66.2%) △ 保護者：83.8%(79.5%) ○ 教職員：90.9%(100%) △</p> <p>家庭と学校とで話題を共有することで教育効果を高めようと考え、道徳のテーマや題材を学年だよりに掲載したり、道徳通信を発行したりしてきた。今後も、生徒が自らの成長を実感し、意欲の向上につなげられるよう工夫を継続していきたい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業の中で道徳的実践力に結びつくよう指導する。 <p>※アンケート(生徒)項目の変更 道徳の時間に学んだことを生かし、実践しようとしている。</p>
	<p>8 学校行事 生徒：学校行事に積極的に取り組み、感動を共にし充実感が味わえた。 保護者：学校は学校行事を通して子どもが感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を通して生徒が感動を共有し、充実感が味わえるようにする。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】</p> <p>生徒：89.6%(85.8%) ○ 保護者：87.2%(87.8%) ○ 教職員：94.3%(94.7%) ○</p> <p>体育祭や合唱コンクールでは、担当者や学年、担任が少しでもクラスの団結や達成す</p>

	<p>教職員：学校行事を通して生徒が感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 80% 保護者 80% 教師 90%</p>		<p>る喜びなどを感じられるよう工夫を重ねたことで、生徒は学校行事に対し概ね意欲的に参加できた。保護者の参観は叶わなかったが、学年やクラスの通信、ホームページ、生徒の様子などから子どもは行事を楽しみ成長しているとの保護者からの意見をいただいた。</p> <p>【次年度の具体策】 ・学校行事を通して生徒が感動を味わえるようにする。 ・学級だより等で、生徒の活動の様子を積極的に保護者に知らせる。</p>
	<p>9 清掃活動（本年度変更） 生徒：清掃活動に一生懸命に取り組んでいる。 保護者：子どもは身の回りの整理整頓を心がけている。 教職員：清掃活動において「3つのルール」を徹底させている。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 80% 保護者 60% 教師 80%</p>	<p>【本年度の具体策】 ・「3つのルール」の徹底。 （時間いっぱい、無駄話せず全力で、身支度整える） ・身の回りの整頓。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：91.9% (90.6%) ○ 保護者：61.0% (61.1%) △ 教職員：77.1% (82.1%) △ 教師は生徒ともに清掃活動に取り組み、生活指標の一つである「場を清め」の実践を積極的に図り、勤労意欲や愛校心を高めている。また、多くの生徒が移動教室時における机上の整理や椅子を机に入れることなどが実践できており、ロッカーや身の回りの整頓を意識させることも継続して指導している。今後も学校からのたよりなどを通じて家庭とより連携し、勤労意欲を高めていきたいと考えている。</p> <p>【次年度の具体策】 ・「3つのルール」の徹底（時間いっぱい、無駄話せず全力で、身支度整える）。 ・机やロッカーの整理整頓を進んで行えるよう指導する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">プロジェクト</p>	<p>10 生活習慣 「早寝早起き」（0 時前就寝、6 時 30 前起床）。 生徒：早寝早起きを実践している。 保護者：子どもは早寝早起きを実践している。 教職員：「早寝早起き」を指導している。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 70% 保護者 65% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】 ・実践していない生徒が固定化されているので、実態を把握し働きかける。 ・電子機器の使い方の指導を継続する。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：80.7% (79.8%) ○ 保護者：78.3% (78.8%) ○ 教職員：85.7% (80.6%) × 職員研修で睡眠と脳の関係等について理解を深め、8～9 時間の睡眠時間が理想で最低でも7 時間必要であり、2 3 時前には寝るようにと生徒に呼びかけた。睡眠は感染症の感染予防にも有利に働くと考えられており、体の発達、脳の発達それぞれに早寝早起きが重要である。寝る前の ICT 機器の利用を控えて質の高い睡眠となるよう学校と家庭が連携し、規則正しい生活習慣を確立できるよう働きかけていきたい。</p> <p>【次年度の具体策】 ・2 3 時前就寝を働きかける。 ・実践していない生徒が固定化されているので、実態を把握し働きかける。 ・電子機器の使い方の指導を継続する。 ※アンケート項目の変更 「早寝早起き」 （2 3 時前就寝、6 時 30 分前起床）</p>
	<p>11 生活習慣(朝食) 生徒：朝食を毎日食べている 保護者：子どもは朝食を毎日食べている。 教職員：生徒が朝食を毎日食べるよう指導している。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 95% 保護者 95% 教師 95%</p>	<p>【本年度の具体策】 ・1 年生から、3 年間かけて指導する。 ・実態に合わせて、特定の欠食者に指導していく。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：94.8% (93.9%) △ 保護者：92.5% (92.7%) △ 教職員：91.4% (91.9%) × 全く食べない生徒が1 9 名もいることはたいへん心配である。ごはんなどの主食には脳のエネルギー源になるブドウ糖が多く含まれているので、朝食を摂ることにより脳とからだをしっかりと目覚めさせることができる。また、勉強等に集中できるようにもなるとも言われている。今後も、朝食を摂ることの大切さを折に触れて生徒に伝え、給食だより保健だよりでも啓発し、保護者</p>

		と意識を共有して、朝食摂取率 100%を目指したい。 【次年度の具体策】 ・1年生から、3年間かけて指導する。 ・欠食者への指導。
12 生活習慣(食生活) 生徒：好き嫌いをなく食べることができる。 保護者：子どもは主菜副菜を交えて食べるなど、望ましい食習慣を身につけている。 教職員：主食、主菜、副菜を交えて食べるなど、望ましい食習慣を身に付くよう指導している。 【本年度の目標指数】 生徒 80% 保護者 80% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・嫌いなものもまず1口、徐々に。 ・準備を早くして、食べる時間を確保する。 ・担任が働きかける。 等	【本年度の達成状況(昨年度)】 生徒：75.3%(75.1%) × 保護者：83.2%(78.8%) ○ 教職員：88.6%(91.4%) △ 概ねバランスのよい食事を心がけ、実践していると考えられる。その一方で、86名(22.4%)の生徒が、嫌いなものは食べていない傾向にある。バランスのよい食生活は、体の成長を支えるだけでなく、心の成長にも大きく影響する。特に精神面の健康を助けたり睡眠の質を良くしたりするホルモン「セロトニン」を作るトリプトファンは体内生成されないため食事によって摂取するしかない。今後も嫌いな物でも少しは食べるといったことを、各家庭と連携して進めていければと考える。 【次年度の具体策】 ・嫌いなものもまず1口、徐々に。 ・野菜嫌いが多いため、指導を工夫する。 ・準備を早くして、食べる時間を確保する。 ・担任が働きかける。
13 部活動 生徒：部活動に一生懸命に取り組んでいる。 保護者：学校は部活動の指導を一生懸命に取り組んでいる。 教職員：部活動の指導を一生懸命にやっている。 【本年度の目標指数】 生徒 90% 保護者 90% 教師 95%	【本年度の具体策】 ・主担当も副担当も早く部活に行く。 ・生徒の様子をよく観察する。(継続指導) 等	【本年度の達成状況(昨年度)】 生徒：93.2%(89.1%) ○ 保護者：89.5%(86.7%) △ 教職員：97.1%(97.4%) △ 本校の部活動は、成績だけを求めるのではなく、取り組む姿勢やあいさつなどの礼儀についても指導している。このことは、「芳賀中プライド」と称され、今年も教職員研修等で確認をした。また、コロナ禍で感染予防対策のため制限された活動となることも多かったが、3年生は有終の美を飾ることができた。今後も保護者の皆様の物心両面に渡る支えの中、顧問と生徒が工夫しながら活動し、生徒の成長を促していきたい。 【次年度の具体策】 ・主担当も副担当も早く部活に行く。 ・生徒の様子をよく観察する。
14 安心な学校生活 生徒：学校生活が楽しい 保護者：子どもを学校に安心して預けられる。 教職員：信頼される学校づくりに努力している。 【本年度の目標指数】 生徒 85% 保護者 90% 教師 100%	【本年度の具体策】 ・学業指導の手引きの内容を、改善・充実し、職員間で共有しながら「居がいのある学級」作りを行う。 等	【本年度の達成状況(昨年度)】 生徒：88.8%(85.9%) ○ 保護者：93.9%(95.1%) ○ 教職員：97.3%(100%) △ 教師は、全ての生徒が、居がいのある学校、楽しいといえる学校・学級づくりに取り組んでいかなければならないと考えている。また、少しでも学校の様子を理解してもらおうと、学年だよりを月1回発行したり、ホームページを日々更新したりして情報発信してきた。今後も工夫を凝らして生徒理解に努め、さらには保護者の皆様からの信頼を得ることに一層努力していきたい。 【次年度の具体策】 ・学業指導の手引きの内容を、改善・充実し、職員間で共有しながら「居がいのある学級」作りを行う。
15 いじめ対応 生徒：みんなが安心して気持ちよく生活できるよう行動している。	【本年度の具体策】 ・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。	【本年度の達成状況(昨年度)】 生徒：89.1%(87.5%) △ 保護者：71.2%(76.3%) ×

<p>クト生き方</p>	<p>保護者：学校はいじめが起こらないように、また起こったときにはすぐ解決するよう取り組んでいる。 教職員：いじめが起こらないように、また、起こったときにはすぐに解決するように取り組んでいる。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 90% 保護者 75% 教師 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エンカウンターを取り入れ、未然防止策を充実していく。 ・全学年で、問題行動への対応を共通理解のもと指導に当たる。 ・いじめアンケートを継続して行う。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>教職員：100%(100%) △ 本校のホームページには、いじめ防止基本方針が掲載しており、「いじめをおこなさない」「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で取り組んでいる。「生徒居るところに教師在り」を実践し、生徒指導部や学年主任会を毎週開催し、生徒の情報を共有している。生徒には、いじめアンケートや教育相談を毎学期実施している。生徒会では「いじめ0宣言」をし、生徒全員の人権を守る活動を模索している。</p> <p>【次年度の具体策】 ・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。 ・エンカウンターを取り入れ、未然防止策を充実していく。 ・全学年で、問題行動への対応を共通理解のもと指導に当たる。いじめアンケートを継続して行う。</p>
	<p>16 基本的生活習慣 生徒：時間を守る・整理整頓・あいさつの生活習慣が身に付いている 保護者：学校は時間を守る・整理整頓・あいさつの生活習慣の定着を図っている。 教職員：時間を守る・整理整頓・あいさつの生活習慣の定着を図っている。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 80% 保護者 80% 教師 100%</p>	<p>【本年度の具体策】 ・時間を守る・整理整頓・あいさつの生活習慣の徹底を、生徒のリーダーシップのもと、全学年、全クラスが同一歩調で身に付けさせる。 ・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：91.9%(88.3%) ○ 保護者：86.0%(89.1%) ○ 教職員：97.3%(94.7%) △ 保護者の皆様の協力があり、ほとんどの生徒が8:00には着席できている。昼休み後は、予鈴の前に遊びをやめて教室に向かう姿を多く見かける。また、あいさつがよくできているという意見が多いものの、以前よりできなくなった、声が小さくなった、地域ではできていない等の意見もいただいている。学校と地域、家庭と連携を図り、生徒のよさをさらに伸ばし、みんなで生徒の成長を助けていくという考えを共有していきたい。</p> <p>【次年度の具体策】 ・時間を守る・整理整頓・あいさつの生活習慣の徹底を、生徒のリーダーシップのもと、全学年、全クラスが同一歩調で身に付けさせる。 ・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。</p>
	<p>17 地域貢献活動 生徒：地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれている。 保護者：学校は子どもが地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるよう指導している。 教職員：生徒が地域行事に参加したり、地域の方にあいさつしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるよう指導している。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 70% 保護者 80% 教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】 ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。 ・ジュニアボランティアの活動を町と協力して、充実を図る。 ・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるよう指導する。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】 生徒：76.3%(76.5%) ○ 保護者：78.8%(77.1%) △ 教職員：94.6%(89.7%) ○ コロナ禍で地域の方と触れ合う機会は少ないが、機会に恵まれたときや親戚、近所の人などには積極的にあいさつをしていこうと校長講話でも呼びかけた。学校運営協議会では、生徒が遠慮してしまうことも多いので地域の方からも生徒にあいさつをしてほしいと話した。また学校は、地域ボランティア等に参加することの意義や重要性を感じているので、今ある活動を継続し、新たなボランティア活動や参加しやすい体制などを模索し、地域と共に生徒を育てていきたいと考えている。</p> <p>【次年度の具体策】 ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。 ・ジュニアボランティアの活動を町と協力して、充実を図る。 ・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるよう指導する。</p>
<p>18 夢の達成</p>	<p>【本年度の具体策】</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】</p>	<p>【本年度の達成状況（昨年度）】</p>

<p>生徒：夢を持ち、その達成のためにがんばっている。 保護者：学校は子どもが夢を持ち、その達成のためにがんばるよう指導している。 教職員：子どもが夢を持ち、その達成のために頑張るように指導している。</p> <p>【本年度の目標指数】 生徒 80% 保護者 80% 教師 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・系統立てた進路指導の充実を図るため、学業指導の手引きを有効活用する。(学級活動の確保) ・教育相談の充実を図る。 <p style="text-align: center;">等</p>	<p>生徒 : 70.6%(72.7%) × 保護者 : 74.7%(77.7%) × 教職員 : 97.3%(100%) △</p> <p>今年もコロナ禍で職場体験や幼稚園訪問などが中止となり、立志の旅路は制限された活動となってしまったが、職業人講話と称し外部講師を招いて職業や生き方についての話を聞いたり、芳賀町の未来の町づくりを考えたり、身近なSDGsを考えたりと学級活動や総合的な学習の時間などを工夫して運営してきた。今後も、将来について考え夢に向かって一生懸命に努力できるように支援を続けていきたい。また、保護者や地域との連携も深め、教育効果を高めていきたい。</p> <p>【次年度の具体策】 ・系統立てた進路指導の充実を図る(学級活動の確保)。 ・教育相談の充実を図る。 ※アンケート項目の変更 「夢」→「夢や目標」に変更</p>
--	---	--

8 学校関係者評価のまとめ

評価 (4 : そう思う 3 : ややそう思う 2 : あまり思わない 1 : 思わない)

評価事項	評価 (人)				意見等の自由記述欄
	4	3	2	1	
1 学校は、学校関係者評価委員(学校の間で話を相互に留意したか)と十分意見交換を深めるよう努めたか。	5	1			<ul style="list-style-type: none"> ・大変、丁寧な説明で対応できていると感じています。コロナ禍でもお互いに情報交換できるよかったです。お話ししたところ、生徒の話も少し聞き取りました。意見交換の機会がほしいと思います。コロナ禍での厳しい制限の中で一杯努力されていると思います。 ・すべての対応にそのような感じしております。 ・生徒と教師の距離感が近いと感じています。生徒一人ひとりを理解しようとしていて、愛情を感じ、居る学校という感じが伝わります。 ・防犯灯の設置など生徒会にも安心安全な学校づくりに参画しようという動きが見られることは素晴らしいと思います。
2 学校は、安心・安全な学校づくりに努めていますか。	6				<ul style="list-style-type: none"> ・消毒ボランティア受け入れ、プロジェクトHな変り難く感じは高く、アルミ缶を集めること地域の方達も一緒の目標に向かう気持ちも味わえた。この地域貢献もありだと思える。現状で可能な限り努力されていると思いが、地域への情報発信の在り方、交流の方法にたいはコロナ後を見据えて考えていきたいと思っております。
3 学校は、地域と連携・協働に努めていますか。	5	1			<ul style="list-style-type: none"> ・消毒ボランティア受け入れ、プロジェクトHな変り難く感じは高く、アルミ缶を集めること地域の方達も一緒の目標に向かう気持ちも味わえた。この地域貢献もありだと思える。現状で可能な限り努力されていると思いが、地域への情報発信の在り方、交流の方法にたいはコロナ後を見据えて考えていきたいと思っております。
4 学校は、学校経営の方針を「本年度の努力点」に反映して教育活動を実施しましたか。	5	1			<ul style="list-style-type: none"> ・具体策にあるプロジェクト体の①電子機器の使い方や指導がどのようにアンケートに反映されているかが不明。また、なぜこの①が体なのか？今更です。 ・先生方の評価が高いということは、反映した教育活動ができてきているということだと思います。
5 児童・生徒、保護者による「学校評価アンケート」の「評価項目」は適切で実施状況が把握できているか。(「本年度の努力点」が構成されているか。)	4	2			

6	保護者アンケート結果に対する学校の考察や改善策や学校の自己評価における改善策は適切ですか。	4	1	1	
7	学校の自己評価における達成状況は適切ですか。	4	2		
8	学校は、自己評価並びにそれを踏まえた今後の改善方策について、広く保護者に公表していますか。	4	1	1	・学校行事の保護者参観が制限される中で、学校の方針が十分理解されているかが気掛かりです。
9	学校は、全ての教育活動を通して、学校教育目標の実現に努めていますか。	6			
10	学校は『芳賀町こども憲章』の達成状況を自己評価にて把握していますか。				
①	『やりぬく心』 将来の夢や目標に向かって学び、努力します	6			
②	『元気なあいさつ』 心を込めてあいさつし、地域の人を笑顔にします	6			
③	『正しい習慣』 体と心をきたえ、健康に過ごします	5	1		
④	『思いやりの気持ち』 命の大切さを理解し、いじめを許さず、友情を育みます	5	1		
⑤	『誇れるふるさと』 美しい自然と良き文化を大切にします	4	2		・地域行事への参加の状況とともに、芳賀町の文化や地域課題への理解や関心の高さについても把握できたらよいと思います。

【自由記述欄】

- ・今回のアンケート結果に対する、学校側の評価がほしかった。また、調査（アンケート）からの傾向の分析、結果と今後の方針もあった方がよいと思う。
- ・アンケートについて、生徒はAB寄りなのに比べ、保護者はややCD寄りになっている。生徒は頑張っているが、保護者は過小評価なのか？望みが高いのか？親子のコミュニケーションが不足しているのか？生徒のがんばっている姿をもっと発信できるとよい。
- ・アンケート回答のE（よくわからない）が気になる。保護者の回答のEが多いように思う。学校がしようとしていることがわからないという事であれば、学校の発信力を高めていかなければならないと思う。
- ・ホームページを毎日アップしていることはすごいと思う。保護者が学校に行けない今、ホームページは大きな窓だと思うので続けてほしい。
- ・コロナが落ち着いたら、ボランティア、奉仕活動を積極的に行ってほしい。
- ・地域と連携して、クリーン芳賀に参加を検討してください。
- ・夢をもつのは子供に限らず、保護者も職員も同じであるので、互いに夢を語り合う機会を設けるべきだ。夢＝やりたいもの（＝職業）とは限らず、なりたい人、在り方、どう生きたいかも考えられるとよい。どんな世界を作りたいかが大切だと考える。
- ・内容について特に意見はありませんが、今後も学校運営協議会を始め、地域の方々とのコミュニケーションの機会を設けていただき、方針に反映させていただきようお願いします。
- ・学校関係者評価を紙ベースではなく、フォーマットをメールで送っていただけるとありがたいです。

9 学校関係者評価を受けて

- ・保護者にお子様の様子を直に見ていただく機会を計画してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置などの発令を受け、感染拡大予防の観点から学校や生徒の活動の様子を保護者に参観していただく機会を自粛しました。学校の考えなどを直接伝え共有する機会も減ってしまい、誠に残念です。来年度も保護者に生徒の様子を直に見ていただく機会を作り、さらには、学校だよりや学年だより、保健だより、給食だより等のお便りの内容を精査し、ホームページによる情報発信についても定期的実施していく予定です。
- ・今年実施したアルミ缶回収のように保護者や地域と学校とが協力してできることを生徒とともに考え実施していきたいと思っています。また、新型コロナウイルス感染症の流行状況を見ながら、ボランティア活動等を含め地域の大人と生徒が接したり懇談したりする機会を設けていきたいと考えています。
- ・生徒、保護者、教職員でアンケートの内容が一致していないため単純に%を比べることができない項目があります。しかしながら、考察や説明などが不十分なところがあつたので来年度への反省とします。
- ・アンケートフォーマットの送付については、事務局と検討していきます。
- ・令和2年度から、本校教育目標の4つそれぞれに、「目指す生徒像」として目標とする具体的な生徒の姿を2つずつ明示し、取り組んでいます。それらを校長講話やプリント配付で生徒に意識付けをしたり、年度途中や年度末にアンケートによる経過観察をしたりしました。コロナ禍で地域活動などが減っていることを考慮して、ふるさとを愛する生徒（本校の使命）の目指す生徒像「ボランティア・奉仕活動、地域活動等に積極的に参加できる生徒」に「登下校などで、地域の人へ積極的にあいさつができる」を追加し、生徒に呼びかけてきました。今後も、教育目標実現のため、知・徳・体のバランスのとれた芳賀町に誇りをもち明日の芳賀町を担う生徒の育成を目指し、全職員で取り組んでまいります。